

報恩講法要

2021.10.26(火)

講師 白川 晴顯 師

講題 人間死んだらどうなる？



報恩講とは、親鸞聖人のご遺徳を偲び讃える法要です。阿弥陀如来さまのすべての人々を救うというご本願を私たちにわかりやすく伝えて下さったのが宗祖親鸞聖人です。

親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀さまのおはたらきに感謝して、浄土真宗との出遇いを深めて参りましょう。

本日は御法中の出勤はなく、院主と若院主の内陣出勤で、奉讃大師作法のお勤めをしました。その後は『御俗姓^{ごぞくしょう}』の拝読です。『御俗姓』とは蓮如上人が親鸞聖人の御生涯や信心をいただくことの重要性を記された書物です。



左の軸は『御絵伝』です。

親鸞聖人の御生涯が絵で表され、右より1幅～4幅となり、下から上へと仰ぎ見るように描かれています。



死んだらどうなるか？

何にも無くなる又は魂だけ残り彷徨い生き続けると考える人が多いが因果の通りに反し、どちらも誤った考えであります。

生きること死ぬことの優劣・善悪はない。どちらも同じこと。長寿であることが優、善で短命は劣、悪。健康が優、善で病気は劣、悪等決めつけがちであるが、優劣・善悪に囚われて過ごすと最後には苦しみしか残らなくなります。その偏った考えや根拠のない迷信に囚われている私に気づかせて下さるのが阿弥陀さまであることをお聞かせ下さいました。



コロナが少し落ち着いたとはいえ、まだまだ出にくい中、多くの方が御参詣下さいました。また沢山のお供えを頂戴しました。如来様にお供えし、御下がりで皆さんにお持ち帰りいただきました。有難うございました。

